



(特非) なっとわーく福島潟

## 福島潟の環境保全と普及活動 ーサワオグルマをはじめとする 湿性植物の保護と市民が 親しむ水辺環境・水田環境の充実ー

一般助成

1年目

実践

木道設置作業  
参加者数

40人

今年度  
木道設置距離

200m

活動の全体目標に  
対する達成度

50%

### 課題

新潟市の準絶滅危惧種であるサワオグルマ等の群生地を広げることで、市民が散策しながら湿地の希少種を観察することができる場を提供すること。

### 活動内容

湿地のため腐食が進んでいた古い木道をはがし、新しいものに取り替える作業を行っている。会員でもある地元の大工の方の指導をうけ、開花期をずらして作業を開始した。サワオグルマの生育地を広げるために、春の開花後に種を取りポットで育て、秋には育てた株を植える作業を行った。また、来訪者の多い潟来亭施設下の湿地にも群生地を増やしている。菜の花シーズン後の五月連休にもサワオグルマで楽しめる福島潟を目指している。



サワオグルマの小道

### 今後の課題

来訪者の多い湿地でのサワオグルマ等の定着はまだ始まったばかりである。点から面まで広がっていくまでもうしばらくかかりそうである。春の菜の花から夏のオニバスまで野の花で楽しめる福島潟をつくっていきたい。

## 成果と工夫した ポイント



### 成果

木道の設置による湿地の整備で自然観察がしやすくなってきた。また、サワオグルマをはじめとする希少種の移植や種まきによって生育地が増えてきた。群生地がひろがってきたため開花期に潟案内ができるまでにってきた。

### 工夫

地元の高校生や大学生の若い力を借りて実施したこと。効率を上げるため事前にスパンを準備しておいたこと。